

議会議案第13号

「子ども医療費」無料化と国民健康保険財政調整交付金削減の廃止を求める意見書の提出について

「子ども医療費」無料化と国民健康保険財政調整交付金削減の廃止を求めることに関し、次のとおり意見書を提出する。

平成27年12月17日提出

提出者	鎌倉市議会議員	竹	田	ゆかり
同	同	上	三宅	真里
同	同	上	赤松	正博
賛成者	同	上	千	一
同	同	上	長嶋	竜弘
同	同	上	上畠	寛弘
同	同	上	西岡	幸子
同	同	上	池田	実

## 「子ども医療費」無料化と国民健康保険財政調整交付金削減の廃止を求める意見書

少子化の進行は、一層の人口減少をもたらし、社会経済や社会保障に影響を及ぼすとともに、未来を担う子供たちの健全な成長にも大きな影響を及ぼすことが懸念される。そのため鎌倉市では、「子ども医療費」を小学6年生まで無料にし、子育てしやすい環境づくりに努力している。

子育て家庭の経済的負担を軽減することは、少子化対策の重要施策と捉え、全ての都道府県で「子ども医療費」への補助を実施している。

しかし、現物給付を導入することにより、国からの国民健康保険財政調整交付金が削減されている現状がある。今や日本の人口問題は喫緊の課題であり、国も少子化担当大臣を配置し、子育てしやすい環境づくりに力を入れ、人口減少を食い止めようとしている。全国知事会などの要求により、国の責任で「子どもの医療費助成制度」を創設することや国民健康保険に関する交付金削減を廃止することなどについて、国と地方の協議が開始されている。

交付金削減を課す行為は、少子化対策に相反することである。以上のことから下記の事項について早期に実施するよう強く要望する。

### 記

- 1 国の責任で「子どもの医療費助成制度」を創設すること
- 2 国民健康保険財政調整交付金削減を廃止すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年12月18日

鎌 倉 市 議 会